

令和6年度以降使用小学校教科用図書の採択結果等について

井手町教育委員会

1 採択結果

教科・種目名	採択した発行者名
国語	光村図書出版
国語（書写）	東京書籍
社会	日本文教出版
社会（地図）	帝国書院
算数	啓林館
理科	啓林館
生活	啓林館
音楽	教育芸術社
図画工作	日本文教出版
家庭	開隆堂出版
保健	東京書籍
英語	光村図書出版
道徳	日本文教出版

2 採択意見（担当より、山城教科用図書採択地区協議会の内容を説明後、審議）

■国語

○光村図書は、言語活動について手引きなどをもとに具体的に示され、児童が主体的に学び、言葉の力を伸ばすことができるような工夫がなされている。

■国語（書写）

○東京書籍は、巻末に「書写のカギ」として1年生から当該学年までの学習のポイントが全てまとめられており、これまでの学習の振り返りがしやすい工夫がされている。

○東京書籍は、教科書と連動した動画やアニメーションなどのQRコンテンツが多く取り入れられているので、児童たちが学習意欲を持って、取り組める形になっている。

■社会

○日本文教出版は、グラフや地図について、色調や色の組み合わせによる区別など、見やすくなるよう配慮している。

○日本文教出版は、「学び方・調べ方コーナー」が設けられており、児童が学習を進めやすく

観察や見学など表現しやすいよう工夫されている。

■社会（地図）

○帝国書院は、大阪市、奈良市、京都市の中心部の地図が載っており、京都府の学習や社会見学、遠足などにも活用でき、使いやすくなっている。

■算数

○啓林館は、1 ページで1時間の配分となっており、学習の目安を分かりやすく表記されている。

○啓林館は、基本問題とレベルを上げた挑戦問題の2種類を用意されているのでいい。

■理科

○啓林館は、吹き出しの中に「見方・考え方マーカー」が引かれており、児童が意識的に理科の見方・考え方を働かせるようにしているので取り組みやすい。

○啓林館は、生活と結びつけられるような単元設定をされており、QRコードでの補充問題に取り組むことができ、学びを深めたり、知識・技能を習得しやすい。

■生活

○啓林館は、学習活動が「わくわく（みつける）」「いきいき（ともだちとかつどう）」「ぐんぐん（みんなでつたえあう）」という3ステップで構成しており、学習のパターン化がなされ、児童にとって学びやすくなっている。

■音楽

○教育芸術社は、最初に題材の「めあて」、最後に「ふり返り」が示されており、「何を学ぶのか」や「何ができるようになったのか」がよくわかる。

■図画工作

○日本文教出版は、「教科書美術館」が関連する題材ページと連続した配置になっており、表現と鑑賞の往復ができる仕組みとなっていて思考を拓けられるような工夫がある。

■家庭

○開隆堂は、調理例と製作例において星の数で難易度が示されており分かりやすい。

■保健

○東京書籍は、熱中症やコンピュータの使用と健康、感染症についてなど現代的な課題を豊富に取り上げており、児童が日常生活とのつながりを意識して学習できる工夫がある。

○東京書籍は、教科書の中で書き込みができるスペースを大きくとっており、思考を深める活

動と足跡が残るのでいい。

■英語

○光村図書は、楽しみながら英語の力がつくチャンツを設定したり、英語の歌や絵本教材も充実しており児童が楽しく学べる工夫がある。

○光村図書は、A B版となっており、ひとまわり小さく、教科書を開けたときにも机上が整理しやすいサイズとなっている。

■道徳

○日本文教出版は、「心のベンチ」で、道徳で学んだ道徳的価値を深める方法が記載されていて、さらに思考を深める手立てが見られる。

○日本文教出版は、「道徳ノート」が付いており、教員にとって授業が進めやすいと思う。児童が考えたことを教員が把握しやすく、一人一人を認め励ますための評価が書けるのでいい。